

# 令和6年度 熊本県中学校総合体育大会 剣道競技大会申し合わせ事項

## 【剣道試合・審判規則に関わる事項】

### 1. 全剣連の試合規則・審判規則により行う。

①「突き技」は禁止する。

②二刀及び上段は認めない。片手打ちは有効打突としない。但し、隻腕の者についてはそのつど協議する。

③場外反則、試合の公正を害する行為の反則等は厳格にとる。

④試合開始は、主審の「始め」の宣告で完全に立ち上がって開始させる。

⑤開始線の位置は、中心（×印）から140cmとする。

⑥反則の宣告は、教育的配慮により適宜その理由を述べることができる。

### 2. 団体戦は、リーグ・トーナメントとし勝者数法によって勝敗を決する。

①男女共、参加チームをA・B・C・Dの4パートに分け、パートは4チーム以内によるリーグ戦を行い、各パート上位2チーム、計8チームによる決勝トーナメントを行う。

②予選リーグの場合は、三本勝負3分、勝敗が決しない場合は、引き分けとする。

③リーグ内における順位つけ方は、勝ちが2点・引き分けは、0.5点とし得点の多い順とする。得点と同じ場合は、勝者数・総本数により、なお同数の場合は、代表決定戦を行う。

④決勝トーナメントは、三本勝負3分、勝敗が決しない時は、引き分けとする。両チームの成績が勝者数・総本数とも同じ場合は、代表決定戦を行う。

⑤代表決定戦は、任意の代表者によって、一本勝負3分、勝負が決しない場合は延長戦を行う。

### 3. 個人戦は、三本勝負3分、勝負が決しない場合は延長戦を行う。

### 4. 竹刀の基準は以下のとおりとする。平成31年4月1日改正、全剣連剣道試合・審判運営要領「ちくどうの最小直径値の計測方法」による。

計測時間……………原則として大会開始前

竹刀の重量……………男子440g以上・女子400g以上

竹刀のながさ……………男女とも114cm以内

剣先の太さ……………25mm以上（男子）24mm以上（女子）とする。

ちくどうの最小直径値…20mm以上（男子）19mm以上（女子）とする。

### 5. 不正な竹刀を使用した場合は発見次第その使用者を「負け」とし、その使用者はその後の試合を継続することができない。また、予選リーグにおいては補員の起用は認めない。決勝トーナメント戦においては、次の試合から補員の起用を認める。

#### ※不正竹刀とは

・ビニールテープを巻いたり、竹刀の中に異物を挿入した竹刀（異物とは先芯のゴムやプラスチック、柄の鉄片以外の全てをいう。）

### 6. つばの直径は9cm以内とし、竹刀に固定する。また、色については茶色のもの（白色も可）を使用する。それ以外の物を使用している場合は、その場で取り替えさせる。

### 7. 足袋・サポーター・テーピングの使用は医療上必要と認める場合に限り認める。ただし金具やプラスチック等相手に危害を加える可能性のあるものについては使用を認めない。

### 8. 中央の大垂れに紺または黒の布地に白字でチーム名、姓、を明記した名札を着用する。（同姓がいる場合は、名前の頭文字を書く）

### 9. 目印の長さについては、全長70cm、幅5cm以内とする。

### 10. 試合規則の実施にあたり疑義のある場合は、試合の終了までに、ただちに監督が審判主任、または審判長に異議を申し立てることができる。

### 11. 選手呼び出し（放送）後、3分で入場がない場合は棄権とみなし不戦負けとする。

### 12. 団体戦において、選手がオーダー順を誤って試合を行った場合、その試合は無効となり、対戦選手の2本勝ちとなる。その後の試合については正しいオーダー位置に戻して試合を行わせる。ただし、試合終了後に異議を申し立てることは出来ない。

### 13. 公正を害する行為について『変形な構え等の防御姿勢』をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」の上、「反則」とする。

### 【試合運営に関する事項】

1. 監督もしくはコーチは当該校の校長・教員・部活動指導員、拠点校部活動や地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は責任ある代表者・指導者とする。教員外指導者は学校委嘱に限り監督登録はできない。監督・コーチ（学校職員・部活動指導員・教員外指導者）は規定のIDカードを付け試合場へ入場出来る。また、必ず試合時には試合者席に入ることが望ましい。
2. 面ひもの長さは着装時に結び目より40cm以内。長い場合は切る。小手ひもはきちんと結ぶ。
3. 試合場への時計の持ち込み（含、監督の腕時計）、並びにタブレットやスマホなどの撮影機器、監督等のサインなどによる指示を禁止する。又、応援は拍手のみとする。
4. 団体戦で相互の礼をする場合、開始時は先鋒と次鋒、終了時は大将のみ面と小手をつけ、竹刀をもって横一列に並ぶ。
5. 試合中は、選手・監督・コーチいずれも先鋒・大将戦は正座をして観戦する事が望ましい。
6. 審判「合議」の場合の競技者は、立ったまま竹刀を納め、区画線内で蹲踞または、正座して待機し、開始時は元の位置で立ったまま構える。
7. 試合時の礼について、最初に上席に礼をして（第1試合者のみ）、相互の礼をする。決勝戦では、始めと終わりに上席に礼をする。（一斉に試合を開始するときは、上席の礼を済ませて合図を待つ。）
8. 選手申込後のオーダーの変更は認めない。（不慮の事故等の場合をのぞく）  
補員との入れ替えは、補員1名につき1回とし1度退いたものの再出場は認めない。
9. 柄革は滑り止めや模様等のない無地のもので、白色とする。
10. 面乳革は、大きさ等も含め華美にならないように配慮し、色は黒または紺色の無地とする。
11. 選手が各種別1名ずつの出場の場合は、練習相手をそれぞれに登録することができる。なお、練習相手は、生徒に限らない。（指導者等含む）

### 【大会運営に関する事項】

1. 監督、コーチ、選手、登録された練習相手以外は試合場（練習会場も含む）に入らない。また、監督・コーチは必ずIDカード着用する。  
（団体・監督1・コーチ1・選手7以内）  
（個人・監督1・コーチ1・選手1）
2. 貴重品等については個人及び各学校で管理する。
3. 大会中は、練習場所以外や通路などで竹刀の素振りや練習は禁止する。
4. 開始式は選手、補員、監督、コーチは全員参加する。開始式に不参加の場合は原則として、大会出場放棄とみなす。
5. はき物は出入口に置かず、各自で剣道具袋等に置いておく。
6. 当日事故があった場合は、応急処置のみ行う。
7. 各学校の校長・副校長・教頭のいずれか1名は試合場の定められた場所への入場を認める。

### 【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項】

1. つば(鏝)競り合い解消に至る時間は「一呼吸(目安としておよそ3秒)」。
2. つば(鏝)競り合いを解消する場合は双方がバラバラに下がらない。また、双方が徐々に下がるのではなく、正しい「つば(鏝)競り合い」から鏝と鏝で競り合う(押し合う)力を利用して一気に下がる。
3. マスクの着用について

#### 【選手】

- ・面をつけている時・面マスクまたはシールドを着用する。
- ・面をつけていない時・個人の判断とする。

#### 【審判員】

- ・マスクは着用しない。ただし控え席でのマスク着用は個人の判断とする。

4. 団体戦の代表者戦、個人戦での延長戦について

○ 延長戦は2分ずつ区切って行う。

- ・ 試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】  
⇒延長2分⇒延長2分⇒【面を外して休息・給水】  
※上記を繰り返す。

【小 休 止】⇒開始線で10秒程度の深呼吸。

【休息・給水】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は5分とする。